

成果指標				
成果指標	設備の点検、充実整備			
指標設定の考え方	市民のニーズに即した安全で快適なコミュニティスポーツづくりの場の提供			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1300	1300	1300	0
実績	1686	1655	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域でできる手軽なスポーツの場の提供をとおして地域の活性化を図る一助となっているが、施設の老朽化や地域人口の減少を考えると今後は活動施設の集約化が必要となる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は長沢体育館の耐震補強設計業務が加わったことにより事業費が増加したが、例年と変わらぬ夜間照明施設等の管理により、地域スポーツの場の提供ができています。 今後も計画的な改修により、生涯スポーツ推進の一助としたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題